

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------|---|-------------|
| ○事業所名 | しおり | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年3月16日 | | ～ 令和8年3月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 6 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年3月16日 | | ～ 令和8年3月16日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年4月20日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 事業所に犬がいるので、動物とのふれあい、命の大切さなどを学ぶことができる。 | 犬と関わる中で、動物の扱い方や優しい気持ちを育てる取り組みを行っている。 | 引き続き、動物とのふれあいを大切にしていく。 |
| 2 | 個別活動と小集団活動から、個々の特性に合わせた支援ができる。 | 個別活動では机上活動を中心に、小集団活動では運動やゲームなどを通して、集中力を保ちながら楽しく活動できるようにしている。 | 活動プログラムに季節を取り入れ、個々に合わせた内容にして、楽しく活動できるようにしていく。 |
| 3 | 有資格者や実務経験が豊富な職員ばかりなので、保護者に安心してもらえる。 | 契約時に職員紹介として説明している。 | SNSや通信を通して、利用者や保護者に周知していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 保護者同士の交流の機会、家族やきょうだい向けのイベントなどの開催ができなかった。 | 平日開催となるため、保護者の方が休みを取って参加していただけるかどうか。 | 保護者同士のつながりを優先的に考えてもらえるように発信していく。 |
| 2 | 一人当たりの利用頻度が少ないため、保護者との交流が不足してしまった。 | こども園や保育園への送迎となるため、放デイと異なり、直接保護者の方と会話ができず、連絡帳、LINE、電話対応になってしまう。 | 現在よりも面談の回数を増やし、保護者の方と交流できる場を作っていく。 |
| 3 | 通信やSNS等での情報発信ができなかった。 | SNSの準備ができなかった。 | 今後SNSを通じ、事業所内での様子を、利用されているご家庭に対して発信していく。 |